



日野・多摩・稲城地区保護司会だより

第61号

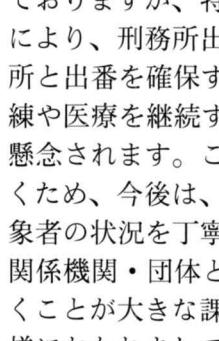


学校今昔

日野市立日野第一中学校

着任の御挨拶

東京保護観察所長 古川芳昭



日野・多摩・稲城地区保護司会の皆様には、日頃から更生保護行政の推進に多大な御尽力を賜り、誠にありがとうございます。4月1日付けで、大阪保護観察所から転入して参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、更生保護を取り巻く情勢は年々厳しくなっておりますが、特に今般の新型コロナウイルス禍により、刑務所出所者等の立ち直りに必要な居場所と出番を確保することや、依存症からの回復訓練や医療を継続すること等に悪影響が出ることが懸念されます。こうした中で、再犯を防止していくため、今後は、感染防止には十分配慮の上、対象者の状況を丁寧に確認しつつ、地方公共団体等関係機関・団体と連携した支援等を充実させていくことが大きな課題であると考えております。皆様におかれましても、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和元年12月に、「再犯防止推進計画加速化プ

ラン」が閣議決定されておりますが、その内容として、満期釈放者対策の充実強化、地方公共団体との連携強化の推進及び民間協力者の活動の促進が明記されました。取り分け、地域において犯罪をした者などの立ち直りを支える保護司については、幅広い年齢層や多様な職業など様々な立場にある方々から保護司の適任者を得られるような取組を推進することが求められています。保護司適任者確保については、本年度、当庁の業務重点事項の1番目に位置づけておりますし、保護司数の減少は全国的な課題であり、重要案件となっています。本年以降、更生保護制度施行80周年までに、この状況がV字回復できるよう、皆様とともにしっかりと取り組んで参りたいと思っております。現状における保護司の配置状況や将来的に任期満了となる保護司の状況などを正確に分析した上で行動していくことが重要ですので、当庁と一緒に緊密な行動連携をよろしくお願ひいたします。

貴地区保護司会の皆様の御健勝とますますの御活躍をお祈り申し上げ、着任の御挨拶とさせていただきます。

- 1 -

令和2年度 第22回定期総会

書面議決回答日 令和2年4月24日
書面議決結果報告日 令和2年4月28日

令和2年度の第22回定期総会は、新型コロナウイルス感染症対策の影響で3月4日から4回の延長を受け4月、5月末日までサポートセンター百草台が休館となったこと、また、4月7日に発出された緊急事態宣言などから会議の自粛要請が強まることもあり、書面による開催といたしました。

定期総会開催に先立ち4月8日に予定されていた第1回理事会は書面により開催されました。ここにおいて、令和元年度の事業・活動報告、収支決算と令和2年度の事業計画（案）、収支予算（案）などの最終確認が行われ、定期総会を書面議決することが承認されました。

書面による定期総会の開催は、初めてのことであり、限られた期間の中でしたが、会員の皆様のご協力のお陰で、次のような流れでスムーズに行うことができました。

- 4月17日に議案書（定期総会資料）を会員に発送
- 4月24日を期限として議案の賛否書面回答
- 4月27日に賛否書面集約と署名人による確認
- 4月28日に書面議決結果を会員に発送

4月27日の賛否書面集約は、選出された書面結果報告書作成人の高木伸二総務部長と持田幸子会書記が行いました。会員74人中、期限までに回答が届いたのは70人で有効回答全員が議案原案に賛成であり、会則第15条により定期総会に代える書面による議決は成立しており、すべての議案について可決

されました。

また、同日に選出された書面議決結果報告書署名人「稲城分区の横田定利会員及び原田正美会員」には、書面議決結果を説明し報告書に署名・捺印をいただきました。

4月28日には、令和2年度にむけた栗井洋子会長の挨拶文と書面議決結果の報告を会員に発送しました。

なお、定期総会開催前に実施できなかった令和元年度監査については、5月21日に実施し、令和元年度の事業・活動と会計処理について問題なく承認されております。

令和2年度 役員（理事）・専門部・分区構成

●役員（理事：23人） 令和2年4月1日現在

日野分区(9人)	大須賀良子 萩原 豊子	松本ちづ子 石川ちづ子	土方 三男 川久保和壽	水野 京子 廣澤 伸幸	谷 和彦
多摩分区(8人)	土谷 繼美 川井 博之	三枝 玲子 佐倉 英明	杉江 利行 持田 幸子	青木 智子 近藤 一美	
稲城分区(6人)	栗井 洋子 唐木 洋子	鹿島 正二 川島 保之	馬場 房義 高木 伸二		

●顧問：安西 清
●副会長：土方 三男
●監事：澤田 研二
●専門部（会員数：74人）

顧問	会長：栗井 洋子
副会長	土方 三男
監事	澤田 研二 篠崎 誠一
センター長	松本ちづ子

会会計	石川ちづ子（財務） 廣澤 伸幸（出納） 川久保和壽（交通費） 持田 幸子（部書記兼務）	研修部 16人	地活部 20人	広報部 15人
会書記				

部長	高木 伸二 杉江 利行 持田 幸子（会書記兼務）	大須賀良子 川井 博之 土谷 繼美	馬場 房義 唐木 洋子 水野 京子	佐倉 英明 近藤 一美 萩原 豊子

監事	出沼惠美子（日野分区書記） 伊野 直美（日野分区会計） 高木 稔信（多摩分区書記） 飯島 文彦（多摩分区会計） 松浦 昇（稲城分区書記） 渡邊 力（稲城分区会計）	松原 一郎 横田 定利 原田 正美 福島 幹男 會田 洋子 門井八重子 貴志 義孝 須崎 勝政 渡邊 幸子 内山 晃次 熊谷 弘 金子 晃久 尾又 孝行	土方喜久弘 紀 初子 西川 毅 戸丸 久惠 角田 政信 松永 健 津守 範学 本多英二郎 山口 豊隆 上田 雅夫 井上 裕由 芝田晴 朗 山田 英二 宍戸 孝至	芦川 正雄 小池 勝造 中村 洋一 坂井 厚彦 山上 貴久 池田 教秀 福島美由紀 庚塚 克子 真木 定義 柏谷 静男 遠藤 明子 関 裕子

●サポートセンター企画調整保護司（10人）

松本ちづ子 持田 幸子	西川 毅 川久保和壽	石川ちづ子 廣澤 伸幸	高木 伸二 高木 稔信	唐木 洋子 高木 稔信	佐倉 英明
----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	-------

●社会貢献活動担当保護司（3人）

馬場 房義（地活部長）	谷 和彦（日野副分区長）	三枝 玲子（多摩副分区長）
-------------	--------------	---------------

●分区

会員数	分区長	副分区長	書記	会計	会計監査
日野分区29人	土方 三男	谷 和彦	出沼惠美子	伊野 直美	會田 洋子
多摩分区23人	青木 智子	三枝 玲子	高木 稔信	飯島 文彦	紀 初子
稲城分区22人	鹿島 正二	川島 保之	松浦 昇	渡邊 力	原田 正美

●会員

会員数	分区長	副分区長	書記	会計	会計監査
日野分区29人	土方 三男	谷 和彦	出沼惠美子	伊野 直美	會田 洋子
多摩分区23人	青木 智子	三枝 玲子	高木 稔信	飯島 文彦	紀 初子
稲城分区22人	鹿島 正二	川島 保之	松浦 昇	渡邊 力	原田 正美

- 1 -



令和2年度 第70回 “社会を明るく する運動”の 取り組み

日野・多摩・稲城地区保護司会
副会長 土方 三男

昨年には更生保護制度施行70周年記念全国大会が開催され、本年の「社会を明るくする運動」(以下、社明運動)は第70回という節目の年を迎え、各分区においても様々な行事を企画予定していました。

このような中、新型コロナウイルスが3月頃より我国においても感染が拡大し、その防止のため4月7日に「緊急事態宣言」が発令されました。観察所からは面接延期・諸会議の自粛が要請され、当地区のサポートセンターも3月4日より閉館されました。また公共施設の使用が禁止され理事会や分区会等の会議中止、定期総会が書面議決となるなど会の活動に支障を来すこととなりました。

社明運動については、観察所より①7月中の街頭啓発活動等の接触型広報活動を中止・延期する。②その後は地域の実情に応じて本年末まで実施可能かどうか検討する。③非接触型広報活動については工夫して実施する。④緊急事態宣言下では準備のための外出を自粛する。⑤作文コンテストは例年通り9月11日締め切りで実施し、依頼に当たっては無理のない範囲で協力して頂く。などが要請されました。

これを受け、5月7日に会長・副会長で本年社明運動の今後の対応について協議しました。その結果、感染拡大の現状や防止対策、活動の準備不足等を鑑み、本年は3市で足並みを揃え、次の様に対応することとしました。①運営委員会・推進委員会等の会議は中止。②街頭や駅頭の広報活動や学校における「出前授業」の中止。③作文コンテストについては学校授業の再開状況を見て依頼。④本運動は通年の活動であることから、今後の感染拡大状況を見極め、啓発用広報資材を学校や関係機関等に配布する。

したがって、本年の社明運動は例年7月の強調月間に行っていた街頭啓発活動等は行いませんが、社明運動それ自体は中止せず実施し、今後の状況を見ながらの対応とします。現時点では感染に歯止めが掛かったように見えますが、第2波を見据え日野・多摩・稲城地区では、今後も不要不急の外出自粛、密閉・密集・密接を避けることにつとめたいと思います。

- 3 -

退任のご挨拶 ありがとうございました

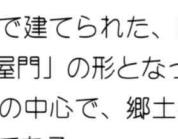
門井 八重子 氏 (稲城分区)

任命: 平成18年5月25日
退任: 令和2年5月24日 (在職14年)

悲喜こもごも…様々な時間を共有して頂いた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

今、世界中に大きな不安と悲しみをもたらしている【新型コロナウイルス】の収束が一日も早いことを、そして世界中の人々が心からの笑顔と幸せが戻ることを祈りつつ…

在任中は大変お世話になりました。有り難うございました。



表紙写真の説明 一学校今昔一

◎ 昭和22年4月に町立日野中学校が、甲州街道日野本陣の北側（現中央公民館辺り）に開校した。昭和37年、用水路を挟んだ隣地に、鉄筋4階建ての校舎が新築された。その後、校舎の老朽化等のため平成21年7月、同じ場所に3代目となる現校舎が完成した。

◎ 新校舎建設にあたり、市民や教職員が検討委員会をつくり「日野宿」に調和した景観とし、教室等は木の温もりを大切にし更に、校門は江戸時代の武家屋敷や富裕な農家で建てられた、門の両側が長屋になっている「長屋門」の形となっている。

◎ 一中地区は日野の歴史の中心で、郷土への誇りが受け継がれている地域である。

(写真提供: 日野市立日野第一中学校)

ご意見・ご感想をお寄せください

令和2年度「保護司会だより」の初号をお届けいたしました。紙面構成、内容はいかがでしたでしょうか。皆様のご要望を受けてめ、さらに読み易く、役に立つ会報にしたいと考えます。広報部員一同、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

(サポートセンター百草台: 042-506-5474)

東京保護観察所立川支部 地区担当観察官のご挨拶

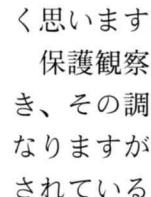


日野・多摩分区担当
主任保護観察官 竹内 桃代

日野・多摩・稲城地区保護司会の皆様こんにちは。このたびご縁がありまして、日野・多摩分区を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、立川支部勤務を1年経過したところで、まだ地域事情に精通していませんが、当地区に足を運ぶことで、地域事情だけでなく様々な出会いや経験が得られるのではないかと期待しているところです。

当地区は、保護司会活動が活発に行われ、自治体や関係機関と連携しながら多様な活動が展開されています。とても力強く、皆様と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。微力ではありますが、当地区の更生保護活動に誠実に取り組んでいきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



稲城分区担当
保護観察官 坂本 幸美

今年度から稲城分区を担当させていただいております坂本と申します。

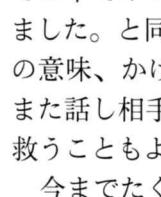
立川支部で保護観察官として拝命されてから今年で3年目となります。常に行動範囲の広い保護観察官であるよう心がけておりますので、また新しい地区を担当できることを大変うれしく思います。

保護観察官の業務は、いかに地域社会に根付き、その調整者としての幅を広げるかが重要となります。それは長きにわたり地域でご活躍されている保護司の先生方のお力が必要不可欠であることを切に感じています。対象者への遭遇に関してはもちろん、積極的に各種会合等にも参画していきたいと考えておりますので、先生方の御指導と御助言を賜りますと幸いです。至らない点も多々あるかと思いますが、日々精進して参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 3 -

新任のご挨拶 ご活躍を期待します

令和2年5月25日委嘱



多摩分区 佐藤 和子

この5月に保護司に任命され、その重責と関わってくださった皆様への感謝を強く感じております。

ここ数ヶ月、新型コロナウイルスの影響で、まったく経験したことのなかった毎日を送っています。その中でオンラインのすばらしさを再認識いたしました。と同時に、人と人との実際に会うことの意味、かけがえのなさも考えさせられました。

また話し相手がいること、何でもない会話が人を救うことでもよくわかりました。

今までたくさん失敗してきました。まだ見ぬどなたかに出会い寄り添い、助け助けられ、一緒に歩んでゆこうと思います。

どうぞご指導のほど、よろしくお願ひ申しあげます。

編集後記

新型コロナウイルスが世界中に流行し、その感染拡大防止を考慮して、非日常的な生活を余儀なくされています。今まで経験したことのない現状を見据えながら、サポートセンター等が使用できず、部会を行ふこともできません。「社会を明るくする運動」の駅頭等の広報活動をも中止せざるを得なくなりました。

この様な状況のなかで第61号の広報作成がスタートしました。メールやFAX等で部員の皆様と連絡をし、連携をとり合いながら校正作業等を進めてまいりました。部長を中心に部会を開催しているかのように、思いをひとつにして本号は出来上りました。新型コロナウイルスの終息を祈りながら、御協力いただきました皆様に感謝いたします。

■サポートセンター百草台

〒191-0033 日野市百草999番地

電話 042-593-0950 FAX 042-506-5474

メールアドレス: vpcocentormog@true.ocn.ne.jp

今年度の広報部員

部長 佐倉英明 副部長 近藤一美 書記 萩原豊子
芦川正雄 小池勝造 中村洋一 坂井厚彦 山上貴久
池田教秀 福島美由紀 庚塚克子 真木定義 細谷靜男
遠藤明子 関 裕子

- 4 -